

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年4月28日

社会福祉法人撫子会 なでしこ保育園

## 1、令和元年度は下記のような重点的な目標・計画を立て、行ってきました。

目 標	計 画	評価	取り組み状況
認定こども園の社会的地位の向上 (見える化への取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画・個人成長記録、保護者への配布物、ホームページ等の内容や公表の見直しをはかり、対外的に法人全体の運営内容が明確に伝わるようにし、社会的地位の確保につなげる。</li> <li>・幼児教育無償化開始に伴う、法人としての取り組み</li> <li>・認定こども園としての認知の向上(地域との積極的交流)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月からの保育無償化に伴い、保護者向け説明会を8月7日に開催しパワーポイントを使用し、複雑な制度を保護者へ説明し理解頂いた。</li> <li>・なでしこ保育園は今年度より認定こども園となり、地域の方への周知を園行事を通じて行ったことにより、行事の来園者が多くなり、1号認定の入園へとつながっていった。</li> </ul>
児童のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童の児童を含めた、異年齢交流による育ちを大切にしていく</li> <li>・園庭や室内の環境整備の充実</li> <li>・職員への規程およびマニュアル等の周知の徹底をはかり、職員全体のレベルアップを図る。</li> <li>・認定こども園としての保育の質の向上をめざした定期的なペアレントトレーニングを含む園内研修</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育環境評価スケールを2年行ってきて、環境整備等の見直しや工夫をすることが出来てきた。</li> <li>・年度初めに職員へ規定やマニュアル等の周知を行ったが、伝えて終わりではなく伝わるような工夫が必要だと感じた。</li> <li>・ペアレントトレーニングを保育に取り入れることで、園児へのかかわり方の統一ができ成長へもつながっていった。</li> </ul>
職員の働き方改革への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革についての職員への周知、職員の職務負担軽減のための工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の記録等の見直しや行事の取り組みの見直しを行うことで、仕事の簡略化となった。</li> </ul>
学童保育の安定した運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全を考えた環境整備をしていく。(特に滝沢中央学堂保育クラブ外構工事の工事中の安全対策を強化する)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく滝沢中央学童保育クラブが開設し、安全に留意し保育を行ってきた。保育園、室小路学童保育会、滝沢中央学童保育クラブの子ども同士また職員間の連携を深めていきたい。</li> </ul>

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 2、総合的な評価結果

評価	理由
B	こども園としての役割を理解し意識をもって運営・保育の取り組むことができたが、職員によりよい働き方に関しては、現在見直しを続けているところである。

### 3、自己評価の項目ごとに評価しました

- a評価…よりより保育の水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 b評価…aに至らない状況、多くの施設の状態「a」に向けた取組みの余地がある状態  
 c評価…b以上の取組みとなることを期待する状態

回答数 27名

#### A-1-(1)全体の計画の編成

1	①保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて教育・保育課程を編成している。					
自己評価結果	a	81%	b	19%	c	0%

判断した理由・特記事項等

- ・毎年振り返ることで、実態を捉えて上で、計画を立てている。

#### A-1-(2)環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

2	①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。					
自己評価結果	a	44%	b	52%	c	4%

判断した理由・特記事項等

- ・その時のクラスや園内の感染症や流行病などの状況によって適切な消毒や清掃方法などに切り替え対応し、環境を整えている。
- ・1号認定子どもが増えたことで、人数に対してトイレの数は少なくなり、使用頻度の少ない大人用トイレを園児に使わせるなどの工夫をしている。

3	②一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。					
自己評価結果	a	73%	b	27%	c	0%

判断した理由・特記事項等

- ・子どもの様子を職員間で共通理解し保育に活用している。
- ・様々な家庭環境や保護者の考え方があるなかで、園でできることは担任間で話し合い行っている。

4	③子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。					
自己評価結果	a	85%	b	15%	c	0%

判断した理由・特記事項等

- ・年齢に合わせた習慣が身につくよう、家庭の様子も考慮しながらきちんと援助できている。
- ・月齢や成長過程によって、個人差はあるが、個々への対応をし、身の回りのことを自分で行える力が身につくよう段階を踏んで教えていくようにしている。
- ・基本的な生活習慣の習得については、園で行っていることを家庭へも発信し、一緒に取り組めるよう協力を促しながら行っている。

5	④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。					
自己評価結果	a	52%	b	48%	c	0%

判断した理由・特記事項等

- ・限られた環境の中で、職員間でもアイデアを出し合い子どもたちが豊かな経験ができるよう取り組んでいる。
- ・子どものやってみたいという気持ちを尊重し、状況に応じて援助している。

6 ⑤乳児保育(0歳児)において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

自己評価結果	a	80%	b	20%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・スキンシップを大切に保護者と連携を密に心がけている。

7 ⑥3歳未満児(1.2歳児)の保育において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

自己評価結果	a	50%	b	50%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・職員間の連携をとり、子どもの育ちを十分に理解し保育をすすめている。
- ・日々子どもが自立できるように声掛け、ペアレントトレーニングを心がけている。

8 ⑦3歳以上時の保育において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

自己評価結果	a	71%	b	29%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

9 ⑧障害のある子どもが安心して生活ができる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

自己評価結果	a	38%	b	63%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・個別計画をたて、日々の保育にねらいを立て指導にあたっている。
- ・気になる子に関しては各クラス工夫して取り組み、取り組みの内容や結果等会議で話し合い意見を出し合い進めている。
- ・障がいについての知識をより深めていきたい

10 ⑨長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

自己評価結果	a	56%	b	36%	c	8%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・子どもの状況を観察し一人ひとりがくつろげるような環境を作るように保育にあたっている。

11 ⑩小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

自己評価結果	a	53%	b	40%	c	7%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・今までやっているが小学校との連携がより大切になると思う。

### A-1-(3)健康管理

12 ①子どもの管理を適切に行っている。

自己評価結果	a	75%	b	25%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

- ・園と家庭で連携をとって共通理解できている。
- ・園で起きた怪我についてはその日のうちに保護者へ伝えるようにしている。また、その後の経過についても聞くようにしている。

13 ②健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

自己評価結果	a	81%	b	14%	c	5%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

14 ③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて医師からの指示を受け適切な対応を行っている

自己評価結果	a	79%	b	21%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

・アレルギーのある子どもの現在の状況をきちんと理解し、対応できている。

#### A-1-(4) 食事

15 ①食事を楽しむことができるよう工夫している。

自己評価結果	a	68%	b	32%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

・一人ひとりに応じて、量を調節するなど無理なく食べられるように援助している。

16 ②子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。

自己評価結果	a	75%	b	25%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

#### A-2-(2) 保護者等の支援

18 ①保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。

自己評価結果	a	70%	b	26%	c	4%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

・園での様子を伝えたりし、楽しく集団生活ができていることが伝わっている  
・コミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いていく。

19 ②家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期対応及び虐待の予防に努めている。

自己評価結果	a	63%	b	37%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

・子どもに限らず、保護者の表情等細かい部分にも着目し変化がないか日頃からよくみるようにしている。

#### A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

20 ①保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている

自己評価結果	a	75%	b	25%	c	0%
--------	---	-----	---	-----	---	----

判断した理由・特記事項等

・職員会議や園内研修等で日頃の保育を振り返り職員間で意見交換や理解し合いながら保育に努めている。

#### 自分にとっての課題・改善が必要なこと

- ・定期的に自分で評価をしながら保育をすすめていきたい。
- ・専門知識を増やしこれからも向上することを心がけていきたい。
- ・心に余裕をもって保育をしたい。
- ・日々子どもたちが安心安全に生活できるように愛情をもって保育していきたい。
- ・仕事内容が偏りすぎないように周囲への配慮

#### 4、今後取り組む重要な課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	専門性の向上と、より質の高い保育を実現するための取り組み	①児童が主体的に関わり、遊びの深まりや広がりが見られる環境(園庭・室内)をつくるための取り組み ②異年齢交流による年長者への憧れや年少者への思いやりの心を育むための取り組み。 ③グループ施設や職員間の連携を取り、安定した運営へつなげていく。
2	保護者支援	保護者の家庭状況が大きく児童に反映されていくために、児童や保護者の変化を常に感じ取り、都度相談に応じたり支援できる体制にしていく。
3	職員の働き方改革・働きやすい職場への取り組み	①職務内容を明確にし、雇用形態による待遇差の解消を行う。 ②職務負担軽減や事務作業の効率化を図り、残業時間の削減に取り組む。 ③ストレスチェック・健康診断の結果のフォローとメンタルヘルス対応、職員との面談や相談を積極的に行い、より良い職場環境作りに取り組む

#### 5、学校関係者評価委員会の評価

令和2年4月28日(火) 学校関係者評価委員会を開催

出席者 地域有識者1名 保護者会代表1名 園長 主幹保育教諭

- ・今年度の重点目標、取り組み状況をから、真摯に保護者・子ども・職員に向き合い、とても良い取り組みをした。
- ・今年度から認定こども園となり、地域への周知という面では、様々な行事等を通じて地域へ周知されてきている。また、支援センターを行っていることも、地域との関りが深まり、認定こども園としての認知につながる取り組みになった。
- ・子どもたちへのかかわりを第一に様々な研修をしていると感じる。特にペアレントトレーニングを通して、職員の対応が共通理解できたことはとても良いと感じた。
- ・働き方改革への取り組みを行い、職員に対しても働きやすい環境になるよう工夫ができていた。
- ・職員への待遇を大切にすることで、先生方には働き続けてほしい。
- ・職員を大事にする事が子ども達への充実した環境になっていく。引き続き働きやすい職場作りへの取り組みを期待する。

学校関係者評価委員の方から頂いたご意見やご感想を受け止め、さらに良い教育、保育を行って参ります。ありがとうございました。